

標準型車いす T-1シリーズ

●T-1-400	[自走式 背固定]
●T-1-420	[自走式 背固定]
●T-1Lo	[自走式 背折れ 低床]
●TD-1	[自走式 背折れ 介助ブレーキ付き]
●TCD-1	[介助式 背折れ 介助ブレーキ付き]

取扱説明書

保証書付き

このたびは、ハビナス「標準型車いすT-1シリーズ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 この取扱説明書には、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。
 ご使用いただく前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、内容をよく理解された上でご使用くださいますよう
 お願いいたします。
 なお、取扱説明書は、必ず大切に保管してください。



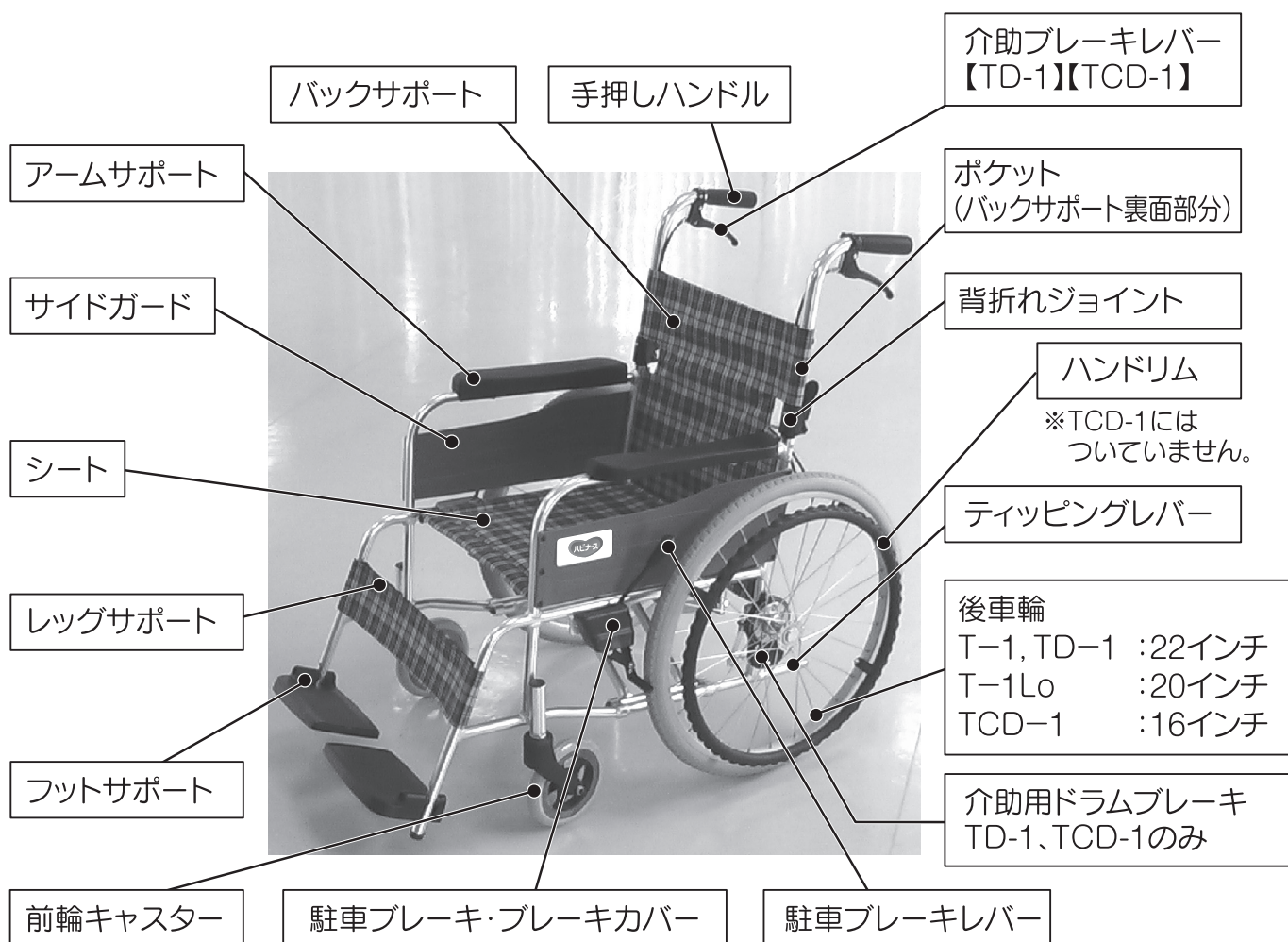
目次

	ページ		ページ
1. 主な特長	2	7. お手入れの方法	10
2. 各部の名称	2	8. 保管方法	10
3. 警告・注意マーク	3	9. 仕様	11
4. 安全にお使いいただくために	3	10. アフターサービスについて	11
5. 使用前の点検	6	保証書	12
6. 使用方法	7		

1. 主な特長

- 「JIS T 9201 (2006) 手動車いす強度耐久性試験 適応使用者体重; 75kg を越え100kg 以下」にて、確認テストを実施しました。
- アームレストの幅が広く、アームレスト内側に向けて傾斜しているため肘が安定します。
- フレームはアルミ合金A7003-T5を主材料とした強度の高い材料を採用。
- 背折れジョイントはアルミ鍛造で製作することにより、従来より高い強度を実現しました。
- シート材は引張り強度の高い材料を採用しています。

2. 各部の名称



3. 警告・注意マーク

製品を安全にお使いいただき、使用者や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。取扱いの誤りによって、発生する恐れのある危険に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的障害の発生が想定される内容を示しています。



警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為であることを告げるものです。



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

4. 安全にお使いいただくために

次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。



警告

- 道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。



警告

■ 走行時の注意

- 「T-1シリーズ」は一人用に設計されています。二人以上で使用しないでください。

使用者最大体重(積載物を含む)100kg

- スピードを出さないでください。スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは転倒し大変危険です。

- 急な下り坂で介助をする時は、後ろ向きにゆっくり下りてください。

- 走行中は、足を必ずフットサポートの上に乗せて走行してください。

- 走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。

 警告

- ⚠ 傾斜地での走行は、車いすが予想外の方向に進むなど、大変危険です。
- ⊙ バックサポートや手押しハンドルに重いものなどを掛けないでください。
- ⚠ 夜間や雨天時には、通行者や車から発見しにくくなりますので、十分にご注意ください。
- ⚠ 回転している車輪に指を挟まないように注意してください。
- ⊙ タイヤを持って後車輪を操作しないでください。ブレーキで指を挟み危険です。

 警告

■介助時の注意

- ⊙ 暖房器具に本体を近づけないでください。シート部が燃えたり、熱くなった金属部分でやけどする、またタイヤの空気が膨張しパンクするおそれがあります。
- ⚠ 踏み切りを横断する際の、溝や踏み切りの路線による落輪、歩道の段差での転落には十分注意してください。
- ⊙ 介助者は、車いすに乗って介助しないでください。
- ⚠ 介助者は、使用者の身体の一部や衣服がタイヤ、スポーク、キャスト及び地面建物、通行者に触れたり挟まったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。
- ⊙ シート以外に腰掛けしないでください。
- ⚠ 認知症の方の場合は、部品などを飲み込むことが考えられますので、十分ご注意ください

 注意

■保守・点検の注意

- ❗ 車いすに水がかかった場合は、直ちに拭き取り可動部に注油を行ってください。
- ❗ 使用する前に後車輪、前輪キャスト、駐車ブレーキなどのネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
- ⊙ 改造・分解はしないでください。強度や耐久性が低下して危険です。
- ⊙ 路面に段差や凹凸のあるところ、湿気の多いところ、雨風の当たるところに車いすを放置しないでください。
- ❗ ご使用中に、異常を感じたらすぐに使用を中止してください。

! 注意

■停止時の注意

❶ 停止時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

■車いすを開く時の注意

⚠ 折りたたんだ車いすを開く時に、シート端のパイプ部分を握って押し下げないでください。手をはさみ危険です。
また、車いすをたたむ時はアームサポートを握らないでください。

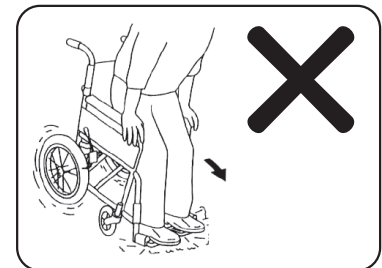


■移乗時の注意

❶ 移乗する時は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

⓪ 移乗する時は、駐車ブレーキレバーに体重をかけないでください。

❶ 移乗する時は、フットサポートをはね上げてから行ってください。また、はね上げたフットサポートに足が当たらないよう、注意してください。

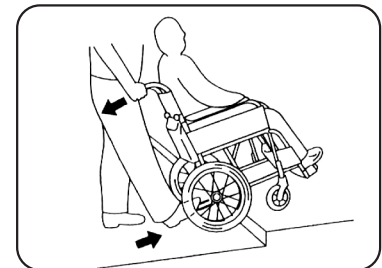


注意

⓪ フットサポートの上には乗らないでください。

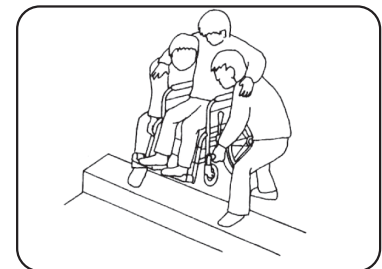
■段差乗り越えの注意

❶ 足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。



⚠ 必ず背折れジョイントがロックされていることを確認してください。

❶ 使用者を乗せたまま車いすを持ち上げるときは、使用者の上半身を支え、シートより下のフレームを両側からしっかり持ってください。



注意

⓪ 無理な力による段差乗り越えはしないでください。フレームの破損につながります。



注意

⓪ フットサポートの先端を段差や障害物に当てないようにご注意ください。

5. 使用前の点検

使用前に次の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や違和感を感じた時は、絶対に使用せずお買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)にご連絡ください。

①後車輪タイヤの空気圧の確認

適正空気圧 300 kPa (3kgf/c)

目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。

②ブレーキの作動確認

■駐車ブレーキ

駐車ブレーキレバーを操作し、ブレーキが掛かることを確認してください。



注意

❗ 後車輪タイヤの空気圧が少ないと、ブレーキが掛からない場合や、掛かりが悪くなる場合がありますので、空気圧には十分注意してください。

■介助ブレーキ【TD-1】【TCD-1】

介助ブレーキを操作し、ブレーキが掛かることを確認してください。

③バックサポートが固定されていることの確認【T-1Lo】【TD-1】【TCD-1】

バックサポートの背折れジョイント部がロックされていることをチェックし、バックサポートが固定されていることを確認してください。

④消耗品、交換部品の確認

それぞれの部品が交換時期になった時は、早めに交換してください。

新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)にご連絡ください。

消耗品・交換部品

品 名	交 換 時 期
後 車 輪 タ イ ヤ	タイヤ表面に溝がなくなったとき。
前 輪 キ ャ ス タ ー	しっかり取り付けていてもガタガタするとき。
シ ー ト	ほつれ、切れ目が発生したとき。ひどく汚れたとき。
介 助 ブ レ ー キ ワ イ ヤ ー	ワイヤーにほつれが発生したとき。【TD-1】【TCD-1】

6. 使用方法

(1) 開封

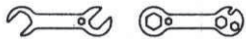
梱包内容を確認してください。



① 本体

② ビニール袋入り付属品 (1ヶ)

{スパナ…2本、六角レンチ…3本(5mm,4mm,3mm)、取扱説明書…1冊}



(2) 使用方法

③ ブレーキの掛け方、解除の方法

1) 駐車ブレーキ

停止時は必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてください。

駐車ブレーキレバーの操作は、ブレーキレバーが止まる位置まで確実に行ってください。

駐車ブレーキレバーを矢印の方向に引くと、ブレーキが掛かり、もどすと解除されます。

駐車ブレーキレバー



注意

❗ 目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。後車輪タイヤ空気圧が低すぎるとブレーキの効きが悪くなります。



注意

❗ ブレーキカバーの中に異物が入らないようご注意ください。ブレーキカバーの中に異物が入りますと、ブレーキが十分きかなくなる恐れがあります。異物が入った場合は、除去してください。

2) 介助ブレーキ【TD-1】【TCD-1】

介助者が車いすを減速する時にご使用ください。

手押しハンドルの両側にある介助ブレーキレバーをにぎるとブレーキが掛かります。

◎ゆるい下り坂や、スロープを下がる時にご使用ください。

②バックサポートの起こし方

バックサポートはロックされるまで起こしてください。

ワイヤーやシートなどをバックサポート固定部にはさみ込まないように注意してください。



注意	⊙ バックサポートを起こす、たたむ操作は、使用者が乗った状態では絶対に行わないでください。背折れジョイントで身体または、身体の一部や衣服をはさむなどしてケガをしたり、衣服が損傷する恐れがあります。
-----------	--

③バックサポートのたたみ方

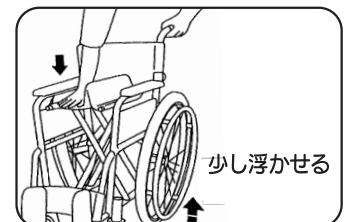
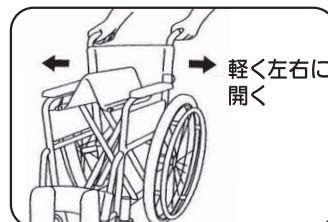
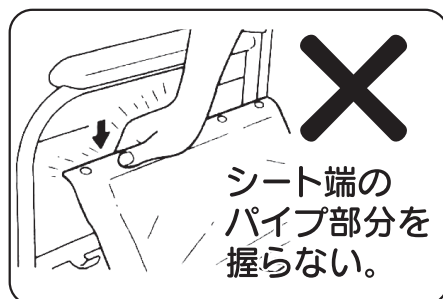
手押しハンドルを握り、一方の手で背折れジョイントのレバーを後方へ引きながら手押しハンドルを倒します。

④車いすの開き方

1) 駐車ブレーキのレバーを引いて駐車ブレーキを掛けてください。

2) 押し手ハンドルを軽く持ち左右に開きます。

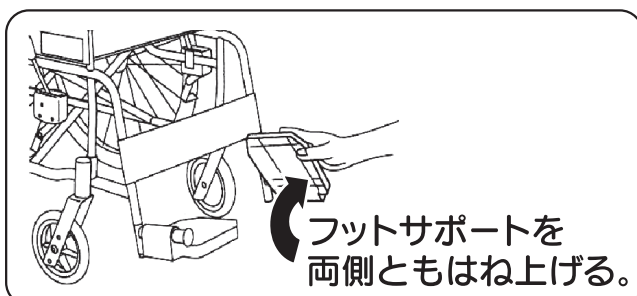
3) 片側の車輪を浮かせて、浮いていない方のシート端のパイプ部分を上から手で押します。



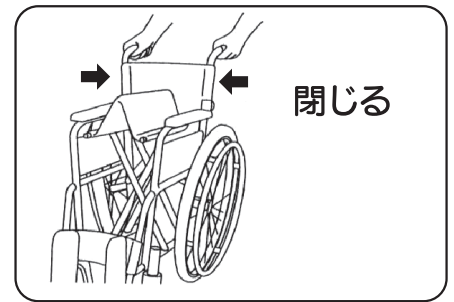
注意	⊙ シート端のパイプを握らないでください。手をはさまれ危険です。
-----------	----------------------------------

⑤車いすのたたみ方

1) フットサポートをはね上げ、シートの前方と後方の中央部を同時に持ち上げます。



2) 手押しハンドルを持って、左右から押し縮めるように折りたたみます。



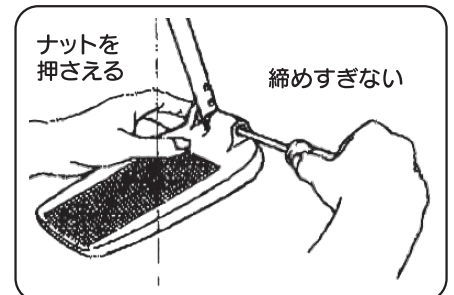
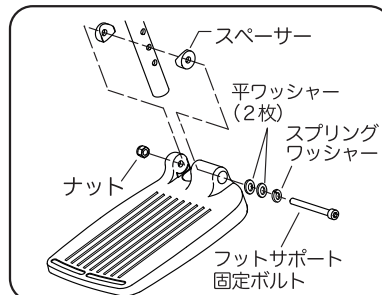
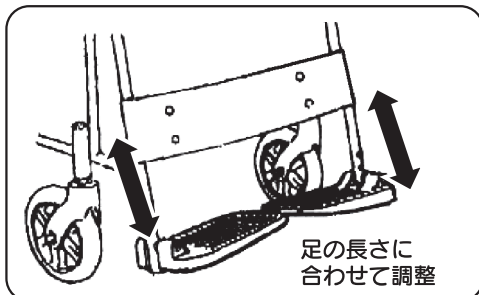
⑥ フットサポートの高さ調節

- 1) 駐車ブレーキレバーを引いて駐車ブレーキを掛けてください。
- 2) フットサポート固定ボルトを外します。このときフットサポートは下ろした状態にします。フットサポート固定ボルトを外すときは、反対側のナットを指で押さえておきます。フットサポート固定ボルトが空回りをはじめたら、フットサポートをかたむけてください。フットサポート固定ボルトが取りやすくなります。
- 3) 足の長さに合わせてフットサポートの高さを調整します。

(本製品は20mm間隔で3段階の調整ができるようになっています)

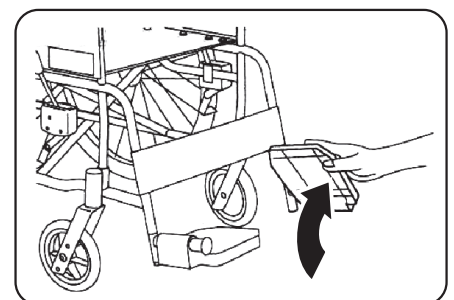
フットサポートの穴とパイプの穴位置を合わせて、そこへフットサポート固定ボルトを挿入してください。フットサポートは片手で動かせるくらいの固さを目安に取り付けてください。

このときフットサポート固定ボルトを締めすぎないように注意してください。



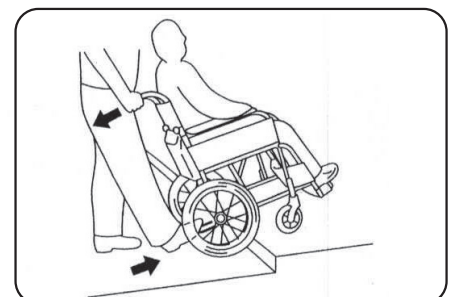
⑦ フットサポートの取り扱い方法

フットサポートは、手動で簡単に外側にはね上げができます。介助のさまたげになる時は、はね上げてください。



⑧ 段差乗り越えの方法

足元のティッピングレバーを踏み込み、前方に押し出しながら、押し手ハンドルを手前に引くようにして、前輪キャスターを段の上に上げてください。



注意	<p>⊘ 無理な力による段差乗り越えはしないでください。フレームの破損につながります。</p>
注意	<p>⊘ フットサポートの先端を段差や障害物に当てないようにご注意ください。</p>

7. お手入れの方法

①本体フレームのお手入れ

- 本体フレームの汚れは、タオルかスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- 水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

②手押しハンドルなどのプラスチック部品、シート部のお手入れ

(シート、バックサポート、アームサポート)

- 汚れは中性洗剤でおとしてください。



注意

⊗シンナー、ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。製品を傷める恐れがあります。

③後車輪タイヤの空気圧の確認

- 空気圧が低すぎると駆動が重くなり、また駐車ブレーキの効きが悪くなります。

④後車輪タイヤ溝の確認

- 後車輪タイヤの減りが激しいものはパンクまたは、走行性や駐車ブレーキの効きが悪くなる原因になるので交換が必要です。

⑤走行性の確認

- まっすぐ進まない場合、どこかが歪んでいる可能性があります。お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)にお問い合わせください。

⑥駐車ブレーキ動作確認

- 定期的に駐車ブレーキのリンク部に注油を行ってください。注油の際、後車輪を止めている部分には油がつかないようにご注意ください。

⑦介助ブレーキ動作確認 【TD-1】【TCD-1】

- 後車輪の車輪軸にある介助用ドラムブレーキ部分には油がつかないようにご注意ください。介助ブレーキの効きが悪くなる原因となります。

⑧シートの確認

- 車いすは湿気に弱いので、雨でぬれる場所などに放置したり、長期間続けてご使用になるとシートに破損、たるみが発生します。適度な座り心地が保ちにくくなりますので、たるみ、破損が著しい場合は交換をおすすめします。

⑨各部ネジの確認

- 後車輪、前輪キャスター、駐車ブレーキなどのネジを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。

8. 保管方法

①収納スペースが少ないときは、車いすをたたんで保管してください。

②錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気の多い場所や室温が上がる場所には保管しないでください。

9. 仕様

項目		仕様				
型式		T-1-400	T-1-420	TD-1	T-1Lo	TCD-1
材質	フレーム	アルミ（アルマイト処理）				
	シート	ナイロン（シート・バックサポート・レッグサポート）				
寸法 (mm)	前輪キャスター×後車輪	6×22インチ			6×20インチ	6×16インチ
	前座高	435			375	465
	後座高	410			350	440
	座幅	400	420	400	400	
	座奥行	400				
	バックサポート高	380				
	アームサポート高	220				
	ハンドル高	840				875
	全幅	630	650	650	630	600
	全高	860				895
	全長	990			945	965
	(折り畳み) 幅×高さ×長さ	340×860×990		360×670×990	340×670×945	260×680×880
	重量(kg)	12.8	12.8	13.7	12.9	12.2

10. アフターサービスについて

この商品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)へお申しつけください。

修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この商品の品名および故障状況をくわしくご連絡の上、お申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョンタヒラ(株)にお問い合わせください。

商品の保証について

(1)保証内容につきましては、裏面の保証書をご覧ください。

(2)保証期間終了後の修理については、販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

ピジョンタヒラ株式会社

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル

TEL 03(3661)4371(代表)

受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)

ピジョンタヒラホームページは

<http://www.pigeontahira.co.jp>

